

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小信中島有料老人ホーム+デイサービス	階数	地上3階
建設地	愛知県一宮市小信中島字東鴨平82番1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	76人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年4月27日
敷地面積	1,707 m ²	作成者	片岡達哉
建築面積	1,072 m ²	確認日	2022年4月27日
延床面積	3,171 m ²	確認者	片岡達哉



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★★★★★

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 82%
 ③上記+②以外の 45%
 ④上記+ 45%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>5.0</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.7</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料> なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
	重点項目									
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		0.1	2.6	0.15	2.2	2.2	1.00			2.5
1.2 遮音		0.4	3.0	0.40		2.2	0.40			2.9
1 開口部遮音性能		3.0	3.0	1.00		3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	3.0	-		3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	3.0	-		1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	3.0	-		1.0	0.20			
1.3 吸音		-	1.0	0.20		1.0	0.20			
2 温熱環境										
2.1 室温制御		0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50			2.6
1 室温		3.0	3.0	0.38		3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	3.0	0.25		3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.38		-	-			
2.2 湿度制御		3.0	1.0	0.20		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30		3.0	0.30			
3 光・視環境										
3.1 昼光利用		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30			3.0
1 昼光率		3.0	3.0	0.60		3.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	-		-	-			
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30			
1 昼光制御		5.0	3.0	1.00		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25		3.0	0.25			
4 空気環境										
4.1 発生源対策		0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63			3.5
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆採用	3.0	4.0	1.00		4.0	1.00			
4.2 換気		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	3.0	-		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33			
4.3 運用管理		0.2	3.0	0.20	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	3.0	-		-	-			
2 喫煙の制御		3.0	3.0	1.00		-	-			
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	2.4	0.40	4.0	4.0	1.00			3.0
1 広さ・収納性	適切な広さ・収納性を確保している	0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60			
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-		5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00		3.0	-			
1.2 心理性・快適性		0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40			
1 広さ感・景観 (天井高)	天井高さ2.5m以上	3.0	3.0	-		4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	3.0	-		-	-			
3 内装計画		3.0	1.0	1.00		1.0	0.50			
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50		-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50		-	-			
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	2.9	0.31	-	-	-			2.9
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48	-	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80	-	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.0	0.33	-	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	②	-	3.0	0.23	-	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	3.0	0.09	-	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.08	-	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	3.0	0.15	-	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-			
2.4 信頼性		0.1	2.6	0.19	-	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	1.0	0.20	-	-	-			
3 電気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-			
4 機械・配管支持方法	②	3.0	3.0	0.20	-	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-			

3 対応性・更新性			0.2	2.5	0.29	2.4	2.4	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり			0.3	1.8	0.31	1.8	1.8	0.50	
1 階高のゆとり			-	1.0	0.60	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			0.3	2.6	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	1.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			独自③	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm 0.71、BEIm0.78	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			-	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			-	3.0	0.30	-	-	-	3.4
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	2.7
1 水資源保護			0.1	2.2	0.15	-	-	-	2.2
1.1 節水			3.0	1.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.8	0.63	-	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	1.0	0.21	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	4.0	0.25	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2概算値:48%	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			0.3	2.4	0.33	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自	3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			独自	3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制			独自	3.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音			独自	3.0	1.00	-	-	-	
2 振動			独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)小信中島有料老人ホーム+デイサービス

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				5.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.5	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 小信中島有料老人ホーム+デイサービス

計画上の配慮事項	
総合	自然エネルギーを最大限に活用し、安全で使いやすい施設となるよう配慮した。
Q1 室内環境	適切な温度管理ができるよう、個別空調を採用した。
Q2 サービス性能	極力無駄のないレイアウトとした。
Q3 室外環境(敷地内)	極力無駄のないレイアウトとした。
LR1 エネルギー	外皮の断熱性能を適切にしたうえで、できる限り自然エネルギーを活用できるようにした。
LR2 資源・マテリアル	出来る限り有害物質を含む材料を使用しない。
LR3 敷地外環境	大気汚染、騒音等周囲の環境に悪影響を及ぼす事の無いよう配慮した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。